

新たな北海道総合開発計画（素案）からの変更点について

変更前（新たな北海道総合開発計画（素案））	変更後（北海道総合開発計画（案））【本日配布資料】
<p>第1章 計画策定の意義 第1節 北海道開発の経緯 （略） （2）第7期北海道総合開発計画の経緯</p> <p>【5 ページ】 （第7期計画の進捗状況） （略） 第3の戦略的目標である「地域力ある北の広域分散型社会～多様で個性ある地域から成る北海道の実現」については、北海道横断自動車道（夕張・占冠間）の開通による道央圏と道東圏の連結等、地域経済・産業を支えるネットワークの強化が図られつつあるが、いまだ主要都市間を結ぶ高規格幹線道路の未整備区間が存在している。また、北海道内各都市における都市基盤、生活関連基盤の整備や農村振興等の取組は、着実に進展しつつあるものの、人口減少の進展や地域経済の低迷により、中長期的な地域コミュニティの維持に係る懸念は払拭されていない。</p> <p>（略）</p>	<p>第1章 計画策定の意義 第1節 北海道開発の経緯 （略） （2）第7期北海道総合開発計画の経緯</p> <p>【2、3 ページ】 （第7期計画の進捗状況） （略） 第3の戦略的目標である「地域力ある北の広域分散型社会～多様で個性ある地域から成る北海道の実現」については、北海道横断自動車道（夕張・占冠間）の開通による道央圏と道東圏の連結等、地域経済・産業を支えるネットワークの強化が図られつつあるが、いまだ主要都市間を結ぶ高規格幹線道路の未整備区間が存在している。また、<u>J R北海道が厳しい経営状況の下で列車の減便や駅の廃止を進めている中で、今後、人々の生活や経済を支える地域の公共交通の確保・持続可能性が課題となっている。</u>北海道内各都市における都市基盤、生活関連基盤の整備や農村振興等の取組は、着実に進展しつつあるものの、人口減少の進展や地域経済の低迷により、中長期的な地域コミュニティの維持に係る懸念は払拭されていない。</p> <p>（略）</p>

変更前（新たな北海道総合開発計画（素案））	変更後（北海道総合開発計画（案））【本日配布資料】
<p data-bbox="248 280 808 357">第3節 新たな北海道総合開発計画の意義 （略）</p> <p data-bbox="264 416 416 448">【11 ページ】</p> <p data-bbox="280 461 992 493">（地域の生き残りから飛躍へ：今後 10 年間の位置付け）</p> <p data-bbox="280 505 1072 1035">一方、これからの 10 年間は、地域の飛躍の契機となり得る期間でもある。2016 年 3 月には北海道新幹線（新青森・新函館北斗間）が開業するとともに、高規格幹線道路網が釧路市まで到達し、国土の骨格を成す北海道内外との高速交通体系が新たなネットワーク機能を発揮し始める段階に入る。また、<u>2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や訪日外国人旅行者数 2000 万人時代の到来</u>など、我が国への国際的な注目が高まる中で、北海道の魅力を世界にアピールする機会が増加する。さらに、巨大なグローバル市場の創出によって、我が国が人口減少下にあっても、海外と直接つながり、アジアを始め世界の成長を取り込み、発展していくことができる時代を迎えている。</p> <p data-bbox="324 1048 378 1080">（略）</p>	<p data-bbox="1122 280 1682 357">第3節 新たな北海道総合開発計画の意義 （略）</p> <p data-bbox="1137 416 1290 448">【8 ページ】</p> <p data-bbox="1153 461 1865 493">（地域の生き残りから飛躍へ：今後 10 年間の位置付け）</p> <p data-bbox="1153 505 1951 1035">一方、これからの 10 年間は、地域の飛躍の契機となり得る期間でもある。2016 年 3 月には北海道新幹線（新青森・新函館北斗間）が開業するとともに、高規格幹線道路網が釧路市まで到達し、国土の骨格を成す北海道内外との高速交通体系が新たなネットワーク機能を発揮し始める段階に入る。また、<u>訪日外国人旅行者数 2000 万人の達成が視野に入ってきており、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催</u>など、我が国への国際的な注目が高まる中で、北海道の魅力を世界にアピールする機会が増加する。さらに、巨大なグローバル市場の創出によって、我が国が人口減少下にあっても、海外と直接つながり、アジアを始め世界の成長を取り込み、発展していくことができる時代を迎えている。</p> <p data-bbox="1198 1048 1252 1080">（略）</p>

変更前（新たな北海道総合開発計画（素案））	変更後（北海道総合開発計画（案））【本日配布資料】
<p>第4章 計画の主要施策 第1節 人が輝く地域社会の形成 （略） （1）北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進 （略）</p> <p>【23 ページ】 ②地方部の生産空間 （略） 散居形態を成す生産空間における生活機能を維持するためには、住民の日常生活に必要な医療、買物、教育等の生活サービスにアクセスするための交通ネットワークを確保することが不可欠である。通院、買物、通学等の交通需要に対応する地域公共交通の導入・維持・再編を図るため、地域公共交通網形成計画の策定等を通じて、交通事業者、住民、NPO等関係者の連携により、コミュニティバス、デマンド交通等住民ニーズに応じた移動手段の維持及び確保を図る。また、貨客混載など多様な手法を活用し、需要が小さくとも、利用者負担や運営コスト、担い手確保等の点で持続可能な人流・物流システムの構築を図る。さらに、移動販売、買物代行等の交通弱者支援対策を促進するとともに、多面的機能支払制度等の着実な推進を通じた集落コミュニティの維持・連携を促進する。</p>	<p>第4章 計画の主要施策 第1節 人が輝く地域社会の形成 （略） （1）北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進 （略）</p> <p>【20 ページ】 ②地方部の生産空間 （略） 散居形態を成す生産空間における生活機能を維持するためには、住民の日常生活に必要な医療、買物、教育等の生活サービスにアクセスするための交通・<u>情報</u>ネットワークを確保することが不可欠である。通院、買物、通学等の交通需要に対応する地域公共交通の導入・維持・再編を図るため、地域公共交通網形成計画の策定等を通じて、交通事業者、住民、NPO等関係者の連携により、コミュニティバス、デマンド交通等住民ニーズに応じた移動手段の維持及び確保を図る。また、貨客混載など多様な手法を活用し、需要が小さくとも、利用者負担や運営コスト、担い手確保等の点で持続可能な人流・物流システムの構築を図る。さらに、移動販売、買物代行等の交通弱者支援対策を促進するとともに、多面的機能支払制度等の着実な推進を通じた集落コミュニティの維持・<u>連携</u>を促進する。<u>加えて、地域の情報通信環境の整備を推進する。</u></p>

変更前（新たな北海道総合開発計画（素案））	変更後（北海道総合開発計画（案））【本日配布資料】
<p>(略)</p> <p>【24 ページ】</p> <p>③地方部の市街地</p> <p>(略)</p> <p>さらに、市街地の人流・物流・情報流を支える幹線交通・情報ネットワークの整備を推進するとともに、<u>地域の実情に応じた多様な公共交通の展開</u>を推進する。</p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>【21 ページ】</p> <p>③地方部の市街地</p> <p>(略)</p> <p>さらに、市街地の人流・物流・情報流を支える幹線交通・情報ネットワークの整備を推進するとともに、<u>地域の実情に応じ、鉄道やバスを始めとする公共交通を持続可能なものにしていくための在り方の検討や取組</u>を推進する。</p> <p>(略)</p>
<p>【30 ページ】</p> <p>(4) アイヌ文化の振興等</p> <p>(略)</p> <p>アイヌの歴史、文化等に関する国民各層の幅広い理解を促進するとともに、将来へ向けたアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展を図るため、アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとなる「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営に関する取組を推進し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に合わせて一般公開する。<u>さらに、アイヌ語その他のアイヌ文化の振興、アイヌの伝統的生活空間（イオル）の再生、アイヌに関する総合的かつ実践的な研究を支援する。</u></p> <p>さらに、アイヌの人々の生活環境等の向上を図るため、教育</p>	<p>【27 ページ】</p> <p>(4) アイヌ文化の振興等</p> <p>(略)</p> <p>アイヌの歴史、文化等に関する国民各層の幅広い理解を促進するとともに、将来へ向けたアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展を図るため、アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとなる「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営に関する取組を推進して、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に合わせて一般公開し、<u>年間来場者数 100 万人を目指す。また、「民族共生の象徴となる空間」を含めたアイヌ文化の復興等に関する全道的なネットワークの構築を図ることとし、その中で、アイヌの伝統的工芸品産業の振興等の様々な取組を促進するとともに、アイヌ</u></p>

変更前（新たな北海道総合開発計画（素案））	変更後（北海道総合開発計画（案））【本日配布資料】
<p>の充実、雇用の安定、産業の振興、生活の安定等の施策を引き続き促進する。</p> <p>（略）</p>	<p>語その他のアイヌ文化の振興、アイヌの伝統的生活空間（イオル）の再生、アイヌに関する総合的かつ実践的な研究を支援する。さらに、アイヌの人々の生活環境等の向上を図るため、教育の充実、雇用の安定、産業の振興、生活の安定等の施策を引き続き促進する。</p> <p>（略）</p>
<p>第2節 世界に目を向けた産業の振興 （略）</p> <p>【37 ページ】</p> <p>（2）世界水準の観光地の形成</p> <p>北海道には、豊かな自然環境、雄大な自然景観や生産活動の中で形成された農村景観、独自の歴史・文化、多様な都市、安全で高品質な農水産物等、アジアの中でも特徴的で魅力的な観光資源が存在し、アジアからの訪日旅行者による旅行先としてのニーズが高い地域である。近年、来道外国人旅行者数は、急激に増加しており、2014 年度には 154 万人となっている。これは、訪日外国人旅行者数の 1 割を占めており、<u>観光立国の実現に向けて北海道が果たす役割はますます大きくなっているが、</u>その一方で、インフラや人材等の受入環境の整備、季節間の旅行需要の平準化、インバウンド観光による経済効果の地方部への波及などが課題となっている。</p> <p>（略）</p>	<p>第2節 世界に目を向けた産業の振興 （略）</p> <p>【33 ページ】</p> <p>（2）世界水準の観光地の形成</p> <p>北海道には、豊かな自然環境、雄大な自然景観や生産活動の中で形成された農村景観、独自の歴史・文化、多様な都市、安全で高品質な農水産物等、アジアの中でも特徴的で魅力的な観光資源が存在し、アジアからの訪日旅行者による旅行先としてのニーズが高い地域である。近年、来道外国人旅行者数は、急激に増加しており、2014 年度には 154 万人となっている。これは、訪日外国人旅行者数の 1 割を占めており、<u>観光立国の実現に向けて更なる高みを目指し、北海道が果たす役割をますます高めていく必要がある。</u>その一方で、インフラや人材等の受入環境の整備、季節間の旅行需要の平準化、インバウンド観光による経済効果の地方部への波及などが課題となっている。</p> <p>（略）</p>

変更前（新たな北海道総合開発計画（素案））	変更後（北海道総合開発計画（案））【本日配布資料】
<p>【37、38 ページ】</p> <p>（世界に通用する魅力ある観光地域づくり、観光旅行消費の一層の拡大）</p> <p>旅行者の周遊を促進するため、地域が主体となって美しい景観づくりなどに取り組んでいる「シーニックバイウェイ北海道」等、北海道の雄大な景観の中での移動そのものも楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム等の振興、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地のネットワーク化などにより、<u>国土交通大臣認定を受けた「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道」に基づく地域の取組への支援、広域的な観光周遊ルートの形成を促進する。</u></p> <p>（略）</p> <p>【38 ページ】</p> <p>（外国人旅行者の受入環境整備）</p> <p>来道外国人旅行者の満足度を一層高め、その拡大を図るためには、外国人旅行者がストレスなく移動・滞在しやすい環境の整備に向けた取組を、外国人目線に立って徹底・強化することが必要である。</p>	<p>【34 ページ】</p> <p>（世界に通用する魅力ある観光地域づくり、観光旅行消費の一層の拡大）</p> <p>旅行者の周遊を促進するため、地域が主体となって美しい景観づくりなどに取り組んでいる「シーニックバイウェイ北海道」等、北海道の雄大な景観の中での移動そのものも楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム等の振興、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地のネットワーク化、<u>複数空港の一体的な運営の推進等により、広域的な観光周遊ルートの形成を促進する。特に、国土交通大臣認定を受けた「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道」に基づく地域の取組を支援する。</u></p> <p>（略）</p> <p>【34、35 ページ】</p> <p>（外国人旅行者の受入環境整備）</p> <p>来道外国人旅行者の満足度を一層高め、その拡大を図るためには、外国人旅行者がストレスなく移動・滞在しやすい環境の整備に向けた取組を、外国人目線に立って徹底・強化することが必要である。<u>特に北海道への来訪者は、大半が航空機により来道することから、空港を始めとするゲートウェイ機能の強化等を図り、北海道への到着時から一貫した快適な環境を確保することが重要である。</u></p>

変更前（新たな北海道総合開発計画（素案））	変更後（北海道総合開発計画（案））【本日配布資料】
<p>このため、新千歳空港の受入環境の整備を始めとする北海道内の空港の必要な整備やC I Q（税関、入管、検疫）体制の整備等による出入国手続の迅速化・円滑化、道内空港の有効活用・利用環境の改善、クルーズ船受入環境の改善などゲートウェイ機能を強化する。また、観光地への交通アクセスの改善を図るため、高速交通体系の整備を推進するとともに、快適・円滑な移動のための公共交通機関やレンタカーの利便性向上、増加する貸切バス需要への柔軟な対応等の取組を推進する。</p> <p>（略）</p> <p>【38 ページ】 （M I C E の誘致・開催促進と外国人ビジネス客等の積極的な取り込み） （略）</p> <p>また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を始め、我が国や周辺諸国で開催される大規模スポーツ大会に係る事前合宿等の誘致を推進する。</p>	<p>このため、新千歳空港の受入環境の整備を始めとする北海道内の空港の必要な整備やC I Q（税関、入管、検疫）体制の整備等による出入国手続の迅速化・円滑化、道内空港の有効活用・利用環境の改善、<u>戦略的な空港間連携の推進</u>、クルーズ船受入環境の改善などゲートウェイ機能を強化する。また、観光地への交通アクセスの改善を図るため、高速交通体系の整備を推進するとともに、快適・円滑な移動のための公共交通機関やレンタカーの利便性向上、増加する貸切バス需要への柔軟な対応等の取組を推進する。</p> <p>（略）</p> <p>【36 ページ】 （M I C E の誘致・開催促進と外国人ビジネス客等の積極的な取り込み） （略）</p> <p>また、<u>国際的な大規模スポーツ大会の誘致</u>や、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を始め、我が国や周辺諸国で開催される大規模スポーツ大会に係る事前合宿等の誘致を推進する。</p>